



題字 藤本利夫書

〈1988年7月9日創刊〉  
 発行 2014年7月1日 〈毎月1日発行〉  
**滋賀県民主教育研究所**  
 〒520-0052 大津市朝日が丘1丁目  
 11-3 教育文化会館2F  
 TEL & FAX 077-525-5364  
 教育110番 077-523-3715  
 e-メール shiga.minken@gmail.com  
 HP: http://shiga-minken.jimdo.com/  
 振替口座番号(会費振込にご利用ください)  
 ①ゆうちょ銀行/記号番号 01070-5-40576  
 ②滋賀銀行本店営業部/普通口座 511256  
 加入者(口座)名 滋賀県民主教育研究所

# 難民化する子どもたち

小野 泰宏

先日、神奈川県のアパートで白骨化した男児の遺体が見つかった。死後7年たつて発覚した痛ましい事件である。ネグレクトや虐待によるこのような事件は後を絶たない。

文部科学省が行った調査（H24年5月1日現在）だけでも、全国で1491件の居所不明ケースがあったという。この結果をみると、先の事件は「氷山の一角かも」と思わざるを得ない。

また、昨年1年間に全国の警察が虐待があったとして児童相談所へ通告した18歳未満の人数は前年比31・8%増の2万1603人となり、過去最多となったという（『産経』2014年3月6日）。このように警察が関与したケースの多くは児童相談所で一時保護されるであろうが、これらの子どもの半数近くが過去に保護された経験があることが、日本子ども家庭総合研究所の調査でわかった（『朝日』2014年6月）。保護した後の取り組みが親子関係の改善につながらず、虐待が繰り返されるのだ。

家庭で養育できない子どもの生活を保障する場として、児童養護施設はよく知られていると思うが、里親の存在はどうか。ひとくちに里親といっても、養育里

親、専門里親、養子縁組希望里親、親族里親の4種があり、そのうち専門里親は、虐待された子どもなど、心の傷の回復など専門的な養育が必要な子どもの養育と自立支援を担うことを目的に、2002年に新設されたもので、数的にも少ない里親であるようだ。そして、その数少ない専門里親の一つが私たち（5人家族）である。

## 里親となって

児童養護施設に勤めていた妻が、自宅で京都市の昼間里親（乳児保育）を始めたのが10年前、さらに、学習と実習を重ねて難しいケースを受け入れる専門里親となった。

認定を受けて1年がたち、里親であることも忘れていた昨年7月に連絡が入った。そして、夏休みが始まる2週間前、突然小学3年生の居る生活が始まった。プールや虫捕り、家族ぐるみで取り組んだ自由研究。冬休みにはデイズニールランド、久しぶりにスキーにも行った。学校生活は平坦ではなく、毎日のようにエピソードを積み重ねているし、宿題に大変時間のかかる平日は大変である。私たちの忍耐も限界を超えることもしばしばで、最近ではお互

いに遠慮もすっかりなくなりつつある。しかし、とにかくよく食べて元気であり、家庭的な環境の中で幼い時期を過ごすことの大切さを痛感する毎日である。

このような子どもたちの生活保障と未来を切り開いていくためには、「社会的難民」を拡大再生産している今の社会において、里親のような社会的な養育が今後ますます重要になってくるのではないか。休日だけの里親も始まっていると聞く。教師であると同時に一人の市民として、身近な実践を通してこれからもこの問題について考えていきたいと思う。

(大津清陵高校通信部教諭)

## 《今月の紙面》

- ・難民化する子どもたち/小野泰宏 ..... 1p
- ・第27回総会報告/事務局 ..... 2p
- ・記念講演概要 「安倍教育改革」と日本の教育の未来/佐貫浩(法政大学) ..... 3・4・5p
- ・2014年度役員一覧..... 5p
- ・第2部会「授業づくりと学び」  
研究部会報告 教室を、ありのままの自分が  
否定されない空間に /山上修 ..... 6・7p
- ・2014年度滋賀民研活動予定..... 8p